

目次

- 006 日本が見たドニ | ドニの見た日本 佐々木奈美子
- 013 日本におけるモーリス・ドニの受容—2020年代の現在地 小泉順也
- 017 I ジャポニズムの申し子 | 「ナビ派」の誕生に居合わせた日本人
- 020 I-1 プロローグ～ナビ派の揺籃
- I-2 ドニとナビ派の仲間たち
- I-3 ファースト・コンタクト～ナビ派の誕生に居合わせた日本人
- I-4 アール・ヌーヴォーの渦の中で
- 024 コラム1 ナビ派誕生の地—パリの世紀末 平石昌子
- 034 コラム2 ナビ派の代弁者—ピエール・ルイとは何者か 平石昌子
- 044 コラム3 世紀末パリの小劇場とナビ派 袴田紘代
- 051 コラム4 モーリス・ドニと黒田清輝 1890/1892 佐々木奈美子
- 058 コラム5 ランソンの食堂壁画と「アール・ヌーヴォーの館」 平石昌子
- 067 II アカデミー・ランソン | パリの画学生～明治・大正・昭和
- II-1 アカデミー・ランソンでドニに学ぶ～第一次世界大戦まで
- II-2 大正への経脈
- II-3 アカデミー・ランソンで学ぶ～エコール・ド・パリの時代
- 076 コラム6 「公式」の画家・ドニの公共建築装飾 森 万由子
- 082 コラム7 教師としてのモーリス・ドニ—アカデミー・ランソンの日本人たち 佐々木奈美子
- 102 コラム8 その後のアカデミー・ランソン 佐々木奈美子
- 115 III 宗教芸術家として | そして彼の絵は海を渡る
- III-1 海を渡る絵画
- III-2 祈りの絵画
- III-3 エピローグ～ナビ派回帰
- 121 コラム9 モーリス・ドニと1920年代の日本人コレクターたち 杉山菜穂子
- 125 コラム10 《ベンガル虎 バッカス祭》—その数奇な運命 平石昌子
- 138 コラム11 モーリス・ドニと「アトリエ・ダール・サクレ」 味岡京子
- 159 コラム12 アニメーションで再現されたナビ派と日本の関係 叶 精二
- 162 モーリス・ドニの日本への眼差し 平石昌子
- 167 作家解説
- 178 関連年表
- 189 主要参考文献
- 191 Bilingual Text
- 201 作品リスト